

「未来高岡」ステップアップトーク（中田地区）会議記録 <要旨>

1、日 時 平成 28 年 11 月 27 日（日） 午後 3 時から 4 時

2、場 所 中田コミュニティセンター

3、出席者 市民 81 名（うち女性 14 名）

高岡市 市長、経営企画部政策監、広報統計課長

4、会議次第

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

.....

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

参加者

- ・中田地内に、50 年前に県内で初めて高速道路の工事が行われたときの初杭があり、看板を建てて PR しているが、高岡市としても重要な場所だと思うので、市の歴史に加えてほしい。

市長

- ・高速道路や鉄道は、出入り口の近く以外では構造物があるだけでメリットが感じられにくいですが、地域の利便性の向上に資するようスマートインターチェンジを新しく設置したり、市内に北陸新幹線の駅があることで市にとっては大きなメリットが生まれる。北陸自動車などの重要な道路や新幹線の開業は、長い年月をかけて評価されるものである。初杭については、どのように歴史にとどめるか考えたい。

参加者

- ・中田小学校近くの交差点付近にアパートが建ち見通しが悪くなったので、以前、市役所にカーブミラーの設置をお願いしたが、子どもが通る通学路のため優先的に工事してほしい。

市長

- ・カーブミラーの設置など道路関係の要望は多く、その中でどの場所から整備していかなければならないか優先順位をつけていかなければならない。高岡市通学路交通安全プログラム¹も新たに策定したので、子どもたちが安心して通学できるよう取り組んでいきたい。

¹ 教育、道路、警察等の機関が連携を図り、合同点検や点検対策の実施、対策効果の検証及び改善等の取組を P D C A サイクルとして繰り返し実施し、継続的に通学路の安全性の向上を図っていくもの。

参加者

- ・ 政務活動費の不正支出の再発防止策についてどのように考えているのか。

市長

- ・ 政治家のお金の問題については、基本的に政治家自身はその政治的責任の中で判断するものだと考えており、今は政治家自身がルールを作っている状態である。市議会でもルールを策定しており、厳格な運用が目に見えるように、またきちんとしたルールとしていくよう相談していきたい。

参加者

- ・ DV²に関する教育を保育園のころから始めてほしい。NPO 団体などから専門知識を持った職員を派遣することもできる。

市長

- ・ 小さな子どもたちへの啓発は、子どもの理解力に応じてどのように教えるか難しい部分もある。今はデート DV などもあり、若い世代にも啓発していくことが大事なので、対象をどこまで広げるべきか考えていきたい。

参加者

- ・ 市で男女平等推進プランを定めているが、わかりづらい部分もあることから、1年に1度でもよいので目に見える形で示してほしい。

市長

- ・ 男女平等推進への取り組みについて、目に見える形で示せばよいが難しい面もある。まず行政でできる取り組みとして、市役所の女性職員の登用や、各種審議会委員における女性の登用を推進している。女性の活躍の場を広げていけるようにしていきたい。

参加者

- ・ 自治会役員に、必ず女性を2人入れてほしいがなかなか難しいので、市からの指摘で男女で交代制にするなどできないか。

市長

- ・ 各地域における事情もあるため市が一律に決めることはできないが、地域の中でも日頃から話題にして意識を高めてほしい。

² 同居関係にある配偶者や内縁関係の間で起こる家庭内暴力のこと。近年では概念は婚姻の有無を問わず、元夫婦や恋人など近親者間に起こる暴力全般を指す場合もある。

参加者

- ・市議会議員は政務活動費を活用して 1 年に 1 回は必ず市内の全校下を回り、どの地区にどのような問題があるかを把握してほしい。全校下を回って、どの地区に一番課題があるかを判断し、自身の地元地区以外にある課題も取り上げ真摯に考えていくことが、議員の本来のあるべき姿ではないか。

市長

- ・行政も日頃から地域の活動について聞くことを心掛けていきたいが、議会でも同様だと思う。議会改革の取り組みのなかで、地域とのやり取りにも取り組んでいると聞いており、今後も続けていかれるものと思う。議員は地元から選出されている方が多いが、他地域の話の聞いたり、他地域出身の議員に話を聞いたりし見識を深めるのが望ましいと思う。議会にはご意見があったことを伝えたい。

参加者

- ・新高岡駅やスポーツコア、ボールパーク高岡など様々な施設で駐車場の不足しているので、駐車場の設置を考えてほしい。

市長

- ・駐車場は、もっとも利用される時点で考えると不足する可能性があるが、山町や金屋町でも観光バス用の駐車場を整備したり、新高岡駅の駐車場料金の改訂を行うなど工夫をしている。新高岡駅では、駐車場の料金改定後に満車率が下がり、利用したい方が利用できる状況になった。イベント時と閑散期の駐車場の利用状況を見ながら、今後どのようにしていくか考えていきたい。また、公共交通機関の利用の案内も行うなど適切に対応したい。

参加者

- ・地元貢献し地域活性化を行いたいと勉強しており、市役所や市街地で話を聞きながら、未来を担う 10 代から 30 代の若い世代の取り込みが大事だと感じている。本で行われているような、新たなまちづくりへ向けた総合計画の説明や地域との意見交換を学校などで行ったりして、若い世代が発信できる場を作ってほしい。
- ・市外から移住した方と、昔からその場所に住んでいる年配の方とでは考え方にも差がある。このような世代の差や、地元と市外の人との考え方の違いをうまく調和していけないか。

市長

- ・本日のような地区の方々との意見交換の場には、若い世代の参加者は少ない。市ではテーマに応じた対話活動も行っており、若い世代や子育て世代との対話活動も行っている。
- ・地域には様々な方が住んでいることから、考え方も当然それぞれ違いがある。まちの将来像として掲げている“市民創造都市”の“市民創造”とはつくることなので、そこには軋轢が起き、時にはぶつかりあうことや人を説得しないといけないことが出てくると思う。しかし、それを乗り越え一緒になって納得できるように取り組んでいく必要がある。

参加者

- ・県道 11 号線新湊庄川線は、北陸銀行中田支店が建つ場所から中田中町の交差点まで歩道がない。またその県道に向かって、住宅地から西へ延伸する中田 3 号線も歩道が途中で止まっている。過去に策定された計画はまだ継続しているとのことだが時間がかかり過ぎではないか。早く工事を進めてほしい。

市長

- ・地域の要望については地元で取りまとめ市に相談してほしい。